

## 令和6年度 第2回長井市学校給食運営委員会 会議録（議事要旨）

- 1 開催日時 令和7年3月12日 午後1時30分 から 午後2時55分 まで
- 2 開催場所 給食共同調理場2F 会議室
- 3 出席者 15名（委員10名、オブザーバー1名、事務局4名）  
委員：星野一浩 委員、柿崎円 委員、原田千尋 委員、佐藤浩子 委員  
井上典嗣 委員、飯澤亮平 委員、青木一志 委員、佐藤孝一郎 委員  
高橋慶充 委員、椎名恭一 委員、桑島一郎 委員、那須義行 委員  
館杏子 委員  
オブザーバー：高橋淳 米沢養護学校長井校教頭  
事務局：土屋正人 教育長、竹田洋 教育次長兼学校教育課長、高世潤 給食共同調理場長  
石田晃司 補佐、小関浩幸 プロジェクトマネージャー、佐藤朋江 栄養教諭、鈴木葵 栄養教諭
- 4 会議内容

日程第1 開 会

日程第2 あいさつ

### ■委員長あいさつ（要旨）

今年度もあとわずかとなり、来週は卒業式を控えており、学校内が慌ただしい時期にある。今日6年生の児童と話をすると、あと2回しか給食を食べることができないと寂しそうにしていた。

教育委員会及び共同調理場の皆様の多大なご尽力をいただき、今年度1年間おいしく安全な給食を提供いただいた。市内すべての学校でバイキング給食や長井まるごと給食、鯉のうま煮給食等、工夫を凝らした給食の提供や食育活動にも取り組んでいただいている。また、最近では物価高騰が続いているが、長井市の給食費は保護者の負担をすえ置き、高騰分を市の補助金で補っていただいております、大変ありがたいと感じている。

本日の委員会では今年度の取組の報告をさせていただくが、来年度につなげていくために皆様から忌憚のないご意見をいただきたい。

### ■教育長あいさつ（要旨）

1年間大きな事故もなく給食を提供することができた。長井市の給食は質が高いと自負しており、それも皆様のご協力のおかげであり感謝を申し上げます。

昨今では給食費の無償化が決定し話題になっており、資料に新聞記事を用意したのでご覧いただきたい。記事の題材にもあるように、給食費の無償化は本当に子どものためになるの

か、という意見を市議会からも頂戴しているところであり、ここで改めて給食とは何かを確認しておきたい。給食は学校給食法のもとに実施しており、目的は児童生徒の健全な発達に資すること、食に対する正しい理解と適切な判断力を養うというものである。無償化は学校給食法の実現の観点ではなく、子育て支援のための施策であり、子ども達にとって給食がどうあるべきかという部分が論点ではない。長井市の給食の提供にあたっては、1に安全安心、2に地産地消と考えており、議会答弁等でもそれが皆さんの総意としてお伝えしているところである。どちらが正しいということではないが、やはり一番は子ども達の健全育成であり、そのためにこの会があるのだということを踏まえながら進めていきたいと思っている。

もう一つ資料を準備したのでご覧いただきたい。10年前にアナフィラキシーショックで児童が死亡する事故が起きた調布市の食物アレルギーのガイドラインである。ガイドラインのはじめに事故の概要が掲載されており、事故の状況が生々しく時系列で示されている。これを見ると、12時55分に給食終了し、13時22分に児童から気分が悪いとの訴えがあり、その後様々対応したのち13時35分に心臓マッサージをしているため既に心肺停止になっていると思われる。気分が悪いとの訴えから心肺停止までわずか14分、その後16時22分に死亡が確認された。調布市ではこの事故の反省をもとにガイドラインを策定し食物アレルギーの対策に取り組んでいる。長井市においても、アレルギー対応食の開始を遅らせた経過がある。アレルギー対応食を開始するあたりシミュレーションをした際に、学校でアレルギーをもつ児童に原因食物を食べさせる事故が起きた。2つのヒューマンエラーが重なって起きた事故であり、一時アレルギー対応をストップし、対策を検討したのちに令和5年1月から開始した。食物アレルギーは軽く考えがちだが、実際は重い問題であり、すべての子どもにおいしい給食を提供できるよう市でも努力していきたいと思う。また、参加いただいている先生方には、養教部会や給食主任会、学校内に今日の内容を必ず周知いただきたい。

### 日程第3 議 事

#### ①令和6年度 学校給食運営事業中間報告について

— 事務局から説明 —

(資料1～4頁を石田補佐、資料5～9頁を鈴木栄養教諭が説明)

— 質疑応答 —

(委員)

5ページの栄養摂取量に記載のP F Cとは何を表しているのか？

(事務局)

Pはプロテイン、Fはファット（脂質）、Cはカーボ（炭水化物）を表しています。

(委員)

7 ページの残食率を見ると、せっかく作った給食が残されている現状があるようだ。小学校と中学校の給食時間はどのくらい違うのか？子ども達は食べるのが遅いので、給食時間を長く確保することはできないのか？

(委員)

小学校は準備に 15 分、食事時間を 20 分としている。中学校は準備 15 分、食事時間 15 分としているが、やはり食べ終わらない子どもがいる。来年度からは準備時間を短縮し、準備を 10 分、食事時間を 20 分確保したいと思っている。

(委員)

休んだ子どもの分はどうなるのか？残食になってしまうのか？

(委員)

本校では、欠席した子どもの分はおかわり用に使っている。しかし、欠席者が多いときは、どうしても残食が多くなってしまふ。

## ②令和 6 年度 学校給食会計及び学校給食特別会計収支報告について

— 事務局から説明 —

(資料 10～11 頁を小関プロジェクトマネージャーが説明)

— 質疑応答 —

なし

## ③令和 7 年度 学校給食費について

— 事務局から説明 —

(資料 12～14 頁を小関プロジェクトマネージャーが説明)

— 質疑応答 —

(委員)

来年度の給食費について、物価が高騰し米の値段が上がっている中、保護者の負担を増やさずに対応いただけるはありがたいと感じている。給食の無償化には個人的には反対である。無償化となると親の興味が失われ、食材への感謝や残さず食べることの教育が疎かになることが懸念される。また、給食の質の低下も避けられないように思う。無償化が騒がれている現状では給食費の値上げには批判がありそうなので、維持が一番よいと思っている。

(委員)

この金額で給食を提供していただいていることに感謝しかない。家でも子どもが毎日献立表を眺めながら給食を楽しみにしている。また、家庭以外で人と食を通して関わり持てる場にもなっている。給食費無償化については、負担しているからこそ親が興味・関心をもつものだと思う。

(委員)

給食費無償化は、たしかに無料にこしたことはないのだが、これだけきちんとした給食を提供してもらっている現状を考えると、それを踏まえたくてお金を払って安心安全な給食を提供してもらうのが一番いいのだと思う。物価高騰が続く中給食費の値上げもなく、金額を維持していただき感謝しかない。

(委員)

給食費無償化について、安心安全な給食を担保できない可能性があるならば、無償化ではなくお金を払ってでも現状の質を維持してほしいと要望書にも書かせてもらったところである。また、子ども達への食育指導も引き続きよろしくお願ひしたい。残食が多いのは心苦しいため、残さず食べて、食への理解が深まればいいと思う。

(委員)

いつもおいしい給食を提供いただいて感謝を申し上げる。子どもも給食を楽しみにしており、次の日の献立をいつもチェックしている。家で食べるより、給食で栄養を摂っているような状態でとてもありがたいと思う。無償化については、なんでもかんでも無料はどうかかと思うし、しっかり集金するところはしてもらって良い、自分は現状維持で良いという考えだ。

#### ④その他

・令和7年度 一般会計当初予算（学校給食関係）について

— 事務局から説明 —

(資料15～17頁を高世場長が説明)

・魚介類や海藻類等の食材におけるアレルギー物質等の混入の可能性について

— 事務局から説明 —

(資料18～19頁を高世場長が説明)

#### 日程第4 その他

①まるごと長井給食アンケート結果について

— 事務局から説明 —

(資料20～25頁を小関プロジェクトマネージャーが説明)

②その他

なし

日程第5 閉 会